

小学校適正規模・適正配置実施方針等の点検・評価説明会意見要望等に対する回答

校 区	開催日	出席者数	意見要望	教育委員会の考え方
長沼舞鶴小学校	平成29年5月9日(火)	17名	子供たちのためには、何が1番良いのかを考えてほしい。	適正配置は、子供の教育条件をより良いものにするを前提に行われるべきであると考えています。単に教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、思考力や表現力等を育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になります。そうした教育を十分に行うためには、一定の学校規模を確保することが重要となります。
			統合年度が決まっているなら、早く教えてほしい。	教育委員会では、平成32年4月を目標に5小学校を統合し、長沼中央小学校を活用した1校の新設校に向け、現在協議検討していますので、統合年度が決まり次第、広報誌等によりお知らせします。
			統合するのかもしれないのかはっきりさせて、また何年か後に同じような会議を開催することがないようにしてほしい。	教育委員会では、平成32年4月を目標に5小学校を統合し、長沼中央小学校を活用した1校の新設校に向け、現在協議検討していますので、数年後に同様の会議を開催することはありません。
			地域内でも高学年と低学年児童の保護者では意見が違うので、教育長の強いリーダーシップの下、教育委員会で方針を決めてほしい。	教育委員会では、平成32年4月を目標に5小学校を統合し、長沼中央小学校を活用した1校の新設校に向け、現在協議検討しています。
			大人ではなく、子供の事情を考えて決めてほしい。	適正配置は、子供の教育条件をより良いものにするを前提に行われるべきであると考えています。
			子供は高学年だが、1年でも長く舞鶴小学校を存続させてほしい。	教育委員会では、平成32年4月を目標に5小学校を統合し、長沼中央小学校を活用した1校の新設校に向け検討していますので、ご理解とご協力をお願いします。
			統合決定後、閉校が決まっている校区の小学校に子供を入学させなければならないのか。	就学すべき学校を指定していますので、指定される就学すべき学校を変更する場合は、就学指定校変更申立書を提出していただき、審査した結果、許可理由に該当すると認めた場合は就学指定校の変更を許可します。
			新校舎を建てる場合、小学校のみ、または、小中一貫校なのかを含めて関係者及び保護者に情報提供し、アンケート実施などにより意見を聞いてほしい。	小学校の新校舎の建設については時期等未定で、現在何も決まっていない段階ですが、校舎の老朽化が著しいことから、施設一体型の「小中一貫型小学校・中学校」の新設校について、今後協議をする予定となっております。つきましては、有識者等を構成員とした建設検討委員会を立ち上げ、その中で出された素案についてパブリックコメントを求めるなどの方法により、新校舎の建設について検討してまいりたいと考えております。
			人口を増やすよう教育環境を整えてほしい。	人口を増やすことも大切ですが、今現在の長沼町の子供たちの数年先を見据え、「子供たちへの最良な教育環境の提供」が確保されるよう、学校における教育環境の整備を十分に図られなければならないと考えています。
北長沼小学校	平成29年5月10日(水)	16名	学校選択制について、今後検討はしないのか。	学校選択制については、教育委員会で検討した結果、「地域の子供数自体が減少している学校の児童数減少に拍車をかけ、学校として存立できなくなるのが想定されるため、導入はしない」旨結論が出ています。※入学児童数の減少や欠学年が生じるなどに伴い、教員数の減少等学校運営に支障を来すことが考えられます。

小学校適正規模・適正配置実施方針等の点検・評価説明会意見要望等に対する回答

校 区	開催日	出席者数	意見要望	教育委員会の考え方
北長沼小学校	平成29年5月10日(水)	16名	北長沼小学校を残してという意見があるのであれば、学校選択制を採用して、中央地域からも北長沼小学校に通わせてはどうか。	学校選択制は、地域の子供数自体が減少している学校の児童数減少に拍車をかけ、学校として存立できなくなることが想定されるため、導入はせず、平成32年4月を目標に5小学校を統合し、長沼中央小学校を活用した1校の新設校に向け、現在協議検討しています。
			切磋琢磨も大切だが、統合すると、落ちこぼれやいじめの問題が出てくるのではないかと。	学校規模によって、落ちこぼれやいじめが発生することはありませんし、あってはならないことです。学校統合に伴い、そのような問題が発生しないよう、今後も継続して研修等を通じた教職員の資質向上、加配教員や学習支援員の配置など、落ちこぼれや、いじめを見逃さない学校体制を構築していきます。特にいじめ問題については、各学校において、いじめ防止基本方針等を策定し、豊かな心と健やかな体を育成する教育の充実を図っています。また、教育委員会においても、いじめ防止基本方針を策定しており、各学校における児童会、生徒会活動等の自主的な企画及び運営による取組の支援、ネットパトロールの実施など未然防止、早期発見・解消を図っています。
			長中スクールバスの乗車時間については、国の基準以内とのことだが、スクールバスに乗車している生徒の現状を把握してほしい。(乗車後の嘔吐など)	文部科学省が策定した手引では、小・中学校の通学時間は「おおむね1時間以内」となっていますが、本町では独自の基準で試算しており、小学校の通学時間は「おおむね45分程度」と定めています。スクールバスの運行路線については、保護者のご理解とご協力が必要となりますが、集合場所を数か所に絞り停留箇所を少なくすることにより、バスの乗車時間を短縮することも可能と考えます。
			今後話す機会がないまま統合が決定することがないようお願いしたい。	平成24年8月に策定した「長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」において、小学校5校を1校に統合することは決定事項となっており、平成26年8月に策定した「長沼町立小学校適正規模・適正配置実施方針」に基づき、統合時期を「平成28年4月」から「未定」としていたところです。今後、小学校統合に係る説明会を各地域で開催し、皆様からご意見をいただき、その後、教育委員会議の中で小学校の統合時期を決定することになります。
西長沼小学校	平成29年5月16日(火)	14名	昔は小規模校のメリットがあったが、最近では児童数が少なすぎて、メリットよりもデメリットが目立ってきている。	ご意見を拝聴しました。子供の教育条件をより良いものにするを前提とした「適正規模・適正配置」となるよう統合を進めています。
			通学時などの児童の安全確保と、統合による児童の不安な心のケアをするのであれば、保護者の総意として統合に反対する意見はないと思う。	ご意見を拝聴しました。通学時などの児童の安全確保と、統合による児童の不安な心のケアについて配慮します。
			西長沼地域だけのスクールバス運行について検討してほしい。	JRバスと遠距離通学費補助の併用が西長沼の現状ですが、今後につきましては、小学年低学年に配慮したスクールバス運行についても、可能かどうか検討します。
			デマンドバスでも良いので、スクール専用のバスを運行してほしい。	
			バスの乗車間違いなどが考えられるため、小学生をJRバスなど公共交通機関で通学させるのは非常に厳しい。	西長沼地域はJRバスが運行しているため、スクールバスの運行について、今後JRバス会社と協議することを考えています。 ※例えば、JRバスにより通学することになった場合、乗車間違いをしないよう、運転手に声掛けをしていただくなど考えています。

小学校適正規模・適正配置実施方針等の点検・評価説明会意見要望等に対する回答

校 区	開催日	出席者数	意見要望	教育委員会の考え方
長沼中央小学校	平成29年5月17日(水)	6名	中央以外の地域住民の賛成が得られるのであれば、統合を進めるべきである。	ご意見を拝聴しました。子供の教育条件をより良いものにすることを前提とした「適正規模・適正配置」となるよう統合を進めていますので、ご理解・ご協力をお願いします。
			5校を1校にしなければならない理由を教えてください。	学校統合は、複式学級の解消を第一に考えてのことです。適正な学校規模については、クラス替えが可能となる複数学級が好ましく、子供同士のコミュニケーションを図る機会が多く確保され、新たな価値観や人間関係の形成に寄与し、学習意欲や良い意味でのライバル意識が芽生えるなどの効果が期待されます。 また、体育的・文化的学校行事における学級ごとの取組など、集団としての教育面を考慮した場合、一学年が2学級以上となることが望ましいため、児童数の推計によると1小学校となります。
			学校選択制は採用しないとのことだが、自分の子供は小規模校で学ばせたい。	ご意見を拝聴しましたが、学校選択制は、教育委員会で検討した結果、「地域の子供数自体が減少している学校の児童数減少に拍車をかけ、学校として存立できなくなることが想定されるため、導入はしない」旨結論が出ていますので、ご理解とご協力をお願いします。
			保護者からアンケートをとり、意見を聞いてはどうか。	平成24年8月に策定した「長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」において、小学校5校を1校に統合することは決定事項となっており、長沼中央小学校を活用することが決まっていますので、統合に関するアンケートは実施しません。
			北長沼小学校を残したいという声があるにもかかわらず、統合を進めるのか。	北長沼地域に限らず、どの地域も多かれ少なかれ存続の声があることは把握していますが、長沼中央小学校を除く4校は全て複式学級があります。複式学級は、教育課程の編成に特別な配慮が必要であり、児童同士の意見交換や学び合い、共同作業や体育・音楽等の集団での十分な教育効果が得られないため、早急に解消を図らなければなりません。平成24年8月に策定した「長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」において、小学校5校を1校に統合することは決定事項となっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。
			複式学級でも良いと思う。	複式学級は、教育課程の編成に特別な配慮が必要であり、児童同士の意見交換や学び合い、共同作業や体育・音楽等の集団での十分な教育効果が得られない場合があるため、早急に解消を図らなければならないことから、5小学校を1校に統合するものです。
			小学生が1時間近くスクールバスに乗って通学することは難しいと思う。	文部科学省が策定した手引では、小・中学校の通学時間は「おおむね1時間以内」となっていますが、本町では独自の基準で試算をしており、小学校の通学時間は「おおむね45分程度」と定めています。 スクールバスの運行路線については、保護者のご理解とご協力が必要となりますが、集合場所を数か所に絞り停留箇所を少なくすることにより、バスの乗車時間を短縮することも可能と考えます。
			未就学児童の保護者の意見も聞くべきである。	今後、小学校統合に係る説明会を各地域で開催しますので、その際にご意見をいただきたいと思っております。
		統合について、実際に小規模校を統合した小学校を調べて検討しているのか。	近隣市町村で統合した小学校の状況等を情報収集し、検討しています。	

小学校適正規模・適正配置実施方針等の点検・評価説明会意見要望等に対する回答

校 区	開催日	出席者数	意見要望	教育委員会の考え方
長沼中央小学校	平成29年5月17日(水)	6名	大きな意見だけでなく、小さな意見も大切にしてほしい。	皆様からのご意見をいただき、検討しています。
			小規模校だからこそできることがある。	小規模校には意見や感想を公表できる機会が多くなるなどのメリットはありますが、社会性を涵養する機会や多様な意見に触れる機会を確保することが不足しがちになるなどデメリットもあります。
			統合について、柔軟に対応してほしい。	平成24年8月に策定された「長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」において、小学校5校を1校に統合することは決定事項となっており、長沼中央小学校を活用することが決まっていますので、ご理解とご協力をお願いします。
			将来の小学校建築場所について、児童の通学距離に差が出ないように配慮してほしい。	小学校の新校舎の建設については時期等未定で、現在何も決まっていない段階ですので、ご意見を参考にさせていただきます。
			小学校の建築場所について、決定後ではなく、候補地がある段階で情報提供してほしい。	
南長沼小学校	平成29年5月18日(木)	19名	準備することがあるので、統合するのが明確にし、今後は情報提供してほしい。	教育委員会では、平成32年4月を目標に5小学校を統合し、長沼中央小学校を活用した1校の新設校に向け、現在協議検討していますので、統合年度が決まり次第、広報誌等によりお知らせします。
			今後、子供に対して説明やアンケート実施など、子供の意見は聞かないのか。	平成24年8月に策定された「長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」において、小学校5校を1校に統合することは決定事項となっており、長沼中央小学校を活用することが決まっていますので、統合の是非についてのアンケートは実施しませんが、各校でのより良い学校づくりの取組の推進や、交流学习後の授業評価などを実施し、学校統合に向けた子供たちの不安解消や要望等を聞く機会として活用していきます。
			例えば、子供から意見を聞いて、統合反対の意見が多い結果となったとしても、統合は進めるのか。	平成24年8月に策定した「長沼町立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」において、小学校5校を1校に統合することは決定事項となっており、長沼中央小学校を活用することが決まっていますので、ご理解とご協力をお願いします。
			子供の意見は大事だと思うので、少しは聞いてほしい。	統合の是非についてのアンケートは実施しませんが、各校でのより良い学校づくりの取組の推進や、交流学习後の授業評価などを実施し、学校統合に向けた子供たちの不安解消や要望等を聞く機会として活用していきます。